



北海道大学 URA ステーション/産学連携本部主催 シンポジウム開催について（お知らせ）

開催趣旨・概要：

北海道大学は、全学的な研究戦略策定機能の強化を図ることを目的に平成 24 年 10 月に URA ステーション（※）を開設しました。この発足を機に、少子超高齢社会を迎える我が国が、現在そして未来に直面する課題に対して、産業界・自治体・地域の皆様と連携しつつ、本学全体としてどのように取り組んでゆくべきかその方策を探ります。

（※）URA（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター）とは、大学等において、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行うことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材を指します。北海道大学では、研究機能の高度化を推し進め、効率的に世界的研究推進体制を強化するために、研究戦略室直属のタスクフォースとして URA ステーションを設置しています。

テーマ：

エイジレス社会を目指して～健康でアクティブな社会を実現するには～

プログラム： 別紙をご参照願います。

日程： 平成 25 年 1 月 15 日（火） 13:00～17:30（開場 12:30）

場所： 北海道大学医学部学友会館「フラテ」ホール

（札幌市北区北 15 条西 7 丁目） ※札幌駅北口より徒歩 13 分

主催： 北海道大学 URA ステーション・産学連携本部

参加対象： 産学官連携関係者・一般市民

参加費： 無料

言語： 日本語

申し込み期間・方法： 事前登録は不要です。直接会場にお越しください。

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学創成研究機構 URA ステーション 特任助教 高木・松浦

TEL: 011-706-9578・9576 FAX: 011-706-9582 E-mail: ura-sympo@cris.hokudai.ac.jp

北海道大学UR Aステーション・産学連携本部シンポジウムの開催について

1. 目 的

北海道大学においては、平成24年10月にUR A（ユニバーシティー・リサーチ・アドミニストレーター）ステーションを開設し、研究戦略策定機能の抜本的強化を図ったところである。この機会に、我が国の重要な社会経済課題である少子高齢化への対応に関して、北海道大学が課題解決に何ができるのか、期待される社会イノベーションに向けて、産業界、自治体等とどのように連携を図っていくのか等に関して、さまざまなステークホルダー参加のもとで議論し、今後の取組みの方向性を探る。

2. 開催日時・場所

平成25年1月15日（火）13:00－17:30

医学部学友会館「フラテ ホール」（北海道札幌市北区北15条西7丁目）

3. テーマ

エイジレス社会を目指して～健康でアクティブな社会を実現するには～

4. プログラム（※プログラムに若干の変更がある可能性があります）

司会 北海道大学創成研究機構UR Aステーション 特任教授 蔵並真一

基調講演

13:00 開会挨拶と開催趣旨説明

「高齢社会に対応する北海道大学の役割と機能強化の方向性」

北海道大学研究戦略・産学連携担当理事 上田一郎

報告セッション：高齢社会が直面する問題

13:20 エイジレス社会の政策的意義と、実現のために必要な条件

北海道大学公共政策大学院 教授 松本勝明

14:00 市民参加型の地域研究が示す高齢社会の一断面

札幌医科大学フロンティア医学研究所 教授 小海康夫

14:40 休 憩

パネルディスカッション： エイジレス社会を実現するイノベーションについて

15:00 ホーカイザー 北海道大学創成研究機構UR Aステーション ステーション長 山中康裕

討論者 北海道大学大学院保健科学研究院 教授 千葉仁志、北海道大学大学院医学研究科 教授 白土博樹、北海道大学大学院先端生命科学研究院 教授 龔劍萍、北海道大学探索医療教育研究センター長・大学院医学研究科 教授 安田和則、北海道総合政策部 科学IT振興局長 木場保洋、北海道科学技術総合振興センター 産学官連携推進部地域イノベーション戦略推進室 チーフ・コーディネータ 北野邦尋 ほか

第1部 技術開発からみた可能性

第2部 社会実装に向けて

17:10 まとめ 北海道大学創成研究機構UR Aステーション ステーション長 山中康裕

17:30 閉 会